

磐城時報

日刊
編輯者 石城郡平町福屋町十四
印刷者 石城郡平町福屋町十四
印刷所 加納活版所
發行所 石城郡平町福屋町十四
電話 二一〇
郵政掛號 第三〇七五
廣告料 一行十四字 日金五拾銭
日刊 日金一圓 月金三十圓 半年金一百八十圓 年金三百六十圓

縣社子鐵倉神社々頭で 入營兵送別會

平町に於ける本年度の入營兵は二百三十八名で前年度より二百左の三十四名であるが、平町役九十四名の増加である、尙ほ同場では例年の通り十八日午前一時に平町會議員選舉名簿も縦覽時から縣社子鐵倉神社々頭に於てせしむる筈である。

て全町の送別會を催はす事になつた、會費四十錢、希望者は平町役場宛申し込むべし、入營兵氏名左の如し。

久保町大竹榮一、北目町馬場石城地方には目下炭礦失業業者七、昇、田町漆間七郎、九品寺前百余名あるに對し磐城五大炭礦、鈴木主計、七軒町田卷源市、口は約三百五十名の欠員あるに、材木町小宮武雄、田町石上忠孝、紺屋町小泉弘、鎌田町和知秀好、南町佐藤武、立町松井始、材木町緑川慶一、紺屋町加治英五、南町鈴木耕三、道匠小路根本好文、五丁目酒井豊、田町清野卯吉、材木町星野武、立町橋一、胡摩澤鈴木三郎、白銀町野口明、十五丁目田村國清、白銀町花澤行雄、堤ノ内山本福四郎、五丁目石川文彌、大工町渡邊豊、紅葉町永山才治郎、道匠小路桐生道雄、柳町鈴木又四郎、堂ノ前緒方四郎、白銀町遠藤幸一、三倉町小野瀬照男、八幡小路高野修二、久保町青木利雄

好間古河炭礦の 新斜坑起工式

石城郡好間村古河炭礦會社では、轉車一臺價格三十圓、白米二俵價格二十四圓を窃盜して賣却し、石城郡内郷村に逃走したので、所轄官谷署では平警察署に取押へ方を通知したが、知らぬが佛の兩名は内郷村の共済委員大内民恵氏宅に至り金を無心した處民法の書籍一冊を出し之を平署に持つて行けば買ふ筈になつてゐるからその金を寄附するといふので三日紹介状を書いて貰つたが、平署に來た處、平署では前記の事情で捜索中の事とて、このまゝ兩名共捕はれ四日官谷署に護送された。

料を與へ容赦なく解雇してゐるかくて五大炭礦では優良坑夫のみを集め坑夫長屋を設け坑夫の収入も一ヶ月七八十圓あり、田二町歩耕作の小作人と同等生活程度もよいので争議も起らず業續もよく大資本の鑛山は益々繁栄石城郡に於ける磐城、入山、古河、小資本の鑛山は勞働争議の河、三井、福島の五大炭礦聯合會で年々衰微するといふ資本主体育大會は三日磐城中學校で舉行されたが、午前八時選手入場開かれたるが、これ等の大炭礦から縮出された九百余名の炭礦失業者の行方は重大社會問題として注目されてゐる。

秋晴れの高月臺上で
五大炭礦體育大會
一萬五千余人の出入
古河 炭 礦 優 勝

警察に出頭
泥棒二名
そのまゝ捕はる

秋晴れの高月臺上で
五大炭礦體育大會
一萬五千余人の出入
古河 炭 礦 優 勝

湯本の孫の奪ひ合ひ

石城郡内郷村大字白字水長根内殺して嗣子がなくなつたため大越治七長女マサ子は去る大正の願ひに及んだものである。

二年石城郡湯本町宇三國四位幸太郎に嫁し七人の子供を産んだが、幸太郎は遊蕩者で五六年前介所に於ける十月中の取扱数は家相續の當時は田畑一町歩余求人五十八件、求職七十二件で、外町内數ヶ所に宅地及び山林紹介したものの五十七件、就職しを有し同町屈指の資産家であつたものの四十名である。

運轉手に
妻をうばはる

山形縣山形市圓應寺町平子仲藏妻中川マツ子(二五)は去月二十日午後六時頃乗てから情を通じてゐた自動車運轉手某と墮落したが石城郡に來た事が判つたので平署に捜索方を願ひ出でた

后山の搜索願
郡内郷村大字宮大沼長吉方居住磐城炭礦后山夫吉田ツネ(二〇)は去月十三日朝家出したまゝ、歸宅せぬので三日平署に捜索方を願ひ出でた。

中村菊大會
相馬郡中村町にては去月三十一日新米初取引を行ひたるが四斗一俵十一圓であつた。

原町通信
中村町の

新米初取引
原町通信

本(古河) 一志賀(古河) 一米五
走高跳 三吉田(古河) 四
五内(入山) 五櫻村(同)
砲丸決勝 一高秋(磐城) 十
米三十八 二志賀(古河) 三淺
井(古河) 四富樫(古河) 五鈴
木(三井)

原町通信
中村町の

新米初取引
相馬郡中村町にては去月三十一日新米初取引を行ひたるが四斗一俵十一圓であつた。

原署の非常召集
原町警察署にては去月三十一日午前一時管内各駐在所の署員に對し非常召集を行ひたるが成績頗る良好にして中村署長の訓示あり終つて濫休に銜符を爲し慰安の宴を催した。

中村菊大會
相馬郡中村町にては去月三十一日新米初取引を行ひたるが四斗一俵十一圓であつた。

聯合消防檢閲
相馬郡小高町、金房、福浦の一町二ヶ村の消防秋季聯合檢閲は來る七日小高小學校に於て執行の筈。

藥、娼妓、酌婦の
診療半減

鐵道家族慰安會
仙臺鐵道運輸事務所主催にて來る十四、五兩日に互り石城郡草野驛以北宮城縣亘理驛迄の各驛職員家族慰安會を原町旭庵に開催す。

鐵道家族慰安會
仙臺鐵道運輸事務所主催にて來る十四、五兩日に互り石城郡草野驛以北宮城縣亘理驛迄の各驛職員家族慰安會を原町旭庵に開催す。

鐵道家族慰安會
仙臺鐵道運輸事務所主催にて來る十四、五兩日に互り石城郡草野驛以北宮城縣亘理驛迄の各驛職員家族慰安會を原町旭庵に開催す。

▲小高校勝つ 相馬郡小高、金房、福浦の三校聯合優勝旗争奪戦は去月三十一日福浦小學校庭に於て舉行されたが其結果各種競技の累計点百二十五点で優勝旗は小高小學校に再び歸したが次点は百七点金房小學校、百四十四点福浦小學校であつた。

平町の亭主各位に

一 女房より
私は極貧弱な家庭を預つて居る一主婦として、出きるだけの經濟をはかつつ、辛じて其日を送つて居る者です。金に恵まれない吾々は、いつになつたら貯蓄ができるやらの今のごころ只生きて居るのに過ぎない有様です。
しかし經濟をどると云つてもきまりきつた支出の内家賃と電燈料を安くしてもらへれば少しは樂にもなるのですが、他都市とひかくすると平は大變家賃と電燈料が高いのです。これは國民としての義務故別ものとして、幸ひ最近電燈値下げ問題が平町會にまで持出さるゝ様になつた事を聞きまして、一日も早く實現されん事を陰ながら期待して居るのでも有ります。

ところが吾々町民を代表して表面に立ち町民の満足計つてくれるべき議員中に、口に正義をとなへながら、吾々のもつとも期待して居た問題に對し會社側からチンビンをもらつたとか、或る所で會社の重役とめしを喰つたとか、おごられたとかと新聞で見ました。勿論吾々女のくわしく知る所では有りませんが、本當だとすれば何たる不徳漢でせう、好く利権屋とか云ふ事を度々耳にしますが、その重

の議員のやつた事とすれば女ながらも黙視し得ざる程の憤慨です。石城の平は人が悪いと云ふ事を他地方で云ふ様ですが、人が好いにも程があるでは無いでせうか、なせ黙つて見て居るのでせう。
そんな不徳きわる議員にたのまに町民大會でも開いて直接會社と接する位の勇氣の所有者は無いものでせうか。近き例に、或る市でかつて電燈値下げ問題がおこつた時全町ランブまでつけて頑張つた實例があるのでは無いですか、それ位までに徹底的に全町こぞつての覺悟がほしいと思ひます。
しかし私は女の身で表面に起つ事も出来ません、男が黙つて居るのに女のくせに生意氣だおつしやるお方も有りませうが、女だつて平町に住むば町民の一人です、好む所は勇氣有る大平町の男性の方々に御願ひしますから、貧する吾々をすくふ第一歩として大いに勇躍されん事を切に御ねがひしてやまないのでも有ります。

驚いた!!!

こうまで安いとは
平・加納活版所の印刷物

時報文藝

冷たさに

過ぐる日は よしや運命の
百花の玉に 冷たさに
うたわれつ 返らぬ夢を
簾に咲きし 想ひつゝ
百合ならで 嘆きわすらう
散るは わがおもひ
浮き世の ならひとは

佛國マルソー會社元詰
生葡萄酒
マルソー・ブランク・白 1.1.0
マルソー・ルージュ・赤
良品にして安價賣行飛ぶが如し
西村屋藥局

毒核 腸胃
皮膚病 淋病 婦人病 腸胃病 十二指腸病
專門 專門
院 醫科 腸胃病 胃性病 村松
(七〇一話電 町南平)

外科 專門
X光線科
上田外科醫院
電話一三九番

耳鼻咽喉科 專門
氣管食道科 專門
病室完備...自炊の便あり
平町南町 大和田醫院
電話一七〇番

液体空氣會社製(酸素含有量九分五)
吸入用酸素酸素吸入器
正確体温器寒暖計
特設 磐城平町 約開内藥局 店 電話四〇番

石炭の特賣
當店小賣部開設三週年紀念として特賣致升
磐城炭礦 正味十貫目金六十錢
炭價は日に向上致しますが今回特に
金六十五錢の品を金六十錢に値下致し升
品質の優良 け當店の特色です
平 驛前 阿部石炭商店
電話二三七番 配達は一俵より致し升

二葉印刷所
平町字仲町
電話七三四番

牛豚肉廉賣
秋みものる秋!!肥ゆる秋!!!
愈々食肉のシーズン来る
精力と体力の増進を計るは今!!!
牛 中 肉 百匁 金二十五錢
同上 肉 同 金四十五錢
同上 肉 同 金六十五錢
同上 肉 同 金八十五錢
豚 中 肉 百匁 金二十五錢
同上 肉 同 金四十五錢
同上 肉 同 金六十五錢
同上 肉 同 金八十五錢
平 驛前(元平劇場入口) 深谷牛豚肉店 電話五二四番

母シン儀永々病氣加療中の處
養生不相叶十一月三日午後三時
十分死去致し候に付此段辱知各
位に謹告仕候
追而來る六日午後零時より全一時迄於自
宅告別式相營可申候
昭和四年十一月四日
平町字胡麻澤 大河原金之助
親戚總代 小川太森
友人總代 伏見彦衛